

検査報告書

作成年月日 ****年*月*日

株式会社クロックフード 御中



株式会社クロックワーク
社団法人 沖縄県食品衛生協会会員
日本防菌防黴学会会員
沖縄県那覇市牧志2-19-10 松善ビル1F
TEL:098-941-3929 FAX:098-941-3930

提出された検体について、検査を行った結果を下記のとおりご報告いたします。

1.検体名: 菓子パン

2.検査項目 同定検査

3.検査内容:

- (1)外観観察
- (2)直接鏡検法(付着物の顕微鏡観察を行う)
- (3)分離培養法(付着物を分離培養後、顕微鏡観察を行う)

4.検査結果

(1)外観観察

提出された検体は、ビニール袋に入っている状態であった。
その付着物は、黒色を呈し、その径は約0.5mmであり、検体中に一様に分布していた(写真1)。

(2)直接鏡検法

黒色部を、顕微鏡で観察すると、菌糸が見られた(写真2)。

(3)分離培養法

黒色部をかき取り、ポテトデキストロース寒天培地に接種し25℃で7日間培養した。
オリーブ色でビロード状の集落が発育した。
顕微鏡観察を行うと、菌糸および分生子が見られた(写真3)。

5.考察

以上より、検体に見られた付着物は*Cladosporium*(クラドスポリウム)属のカビであることが推測された。

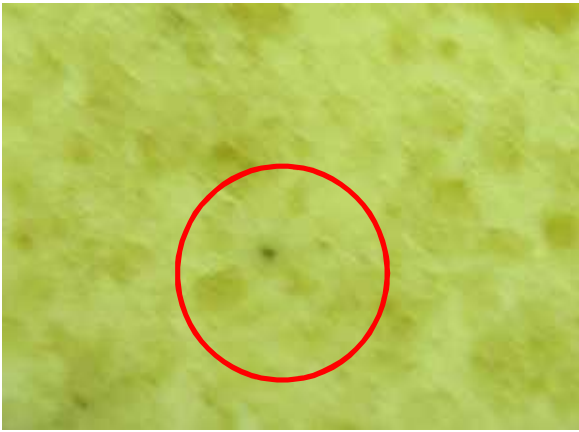


写真1



写真2



写真3

6. まとめ

検体から分離された *Cladosporium* (クラドスポリウム) 属のカビは、自然界や住居環境中に常在し、特に水まわりや壁で良く見られる、黒いカビがこのカビである。また、空気中に浮遊するカビの大部分を占める。

様々な苦情食品からも高頻度に検出され、菓子類では他の種のカビに比べ最も苦情の原因となり易い。

カビ毒を産生するという報告はない。



Cladosporium 属の集落の写真



Cladosporium 属の顕微鏡写真

写真 山口県環境保健センターより <http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/sf/index.html>